

まちづくりの基本方針	4	コンパクトで快適に暮らせるまちづくり		
施策の方向	(1)	市街地整備	該当ページ	P65
基本方針	本町の歴史的、文化的遺産を継承しながら、自然環境と調和した快適な生活環境の整備を進め、人々が行き交い集い、賑わいのある沖縄本島東部地域の拠点都市としてふさわしい魅力的な市街地形成に取り組みます。			
施策の体系	潤いある良好な住宅地の形成			

○実施計画事業

事業No.	1	東浜水路散策路照明灯整備事業			事業課	まちづくり課
予算	事業名	東浜水路散策路照明灯設置事業				
	科目	款	8	項	2	目
個別計画/条例		—			目標年次等	H30年度
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	地域特性に応じた個性豊かなまちづくり推進のため、中城湾港マリントウンプロジェクトにより造成された東浜地区と既成市街地との間の東浜水路を新たな観光資源として活用できるように、東浜水路沿いの親水性護岸及び遊歩道に景観に配慮した照明灯を設置する。					
事業対象	町民及び観光客					
目標値	東浜水路沿いに、景観へ配慮した照明灯を45基設置する。	H29年度		照明灯25基設置		
		H30年度		照明灯10基設置		
現状値	東浜水路沿いは照明灯が少なく、夜には辺りが暗くなり、閑散としている。					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費 24,250 千円		事業費 11,000 千円			
	委託業務 1件 照明灯設置工事 25基		委託業務 1件 照明灯設置工事 10基			

まちづくりの基本方針	4	コンパクトで快適に暮らせるまちづくり		
施策の方向	(1)	市街地整備	該当ページ	P65
基本方針	本町の歴史的、文化的遺産を継承しながら、自然環境と調和した快適な生活環境の整備を進め、人々が行き交い集い、賑わいのある沖縄本島東部地域の拠点都市としてふさわしい魅力的な市街地形成に取り組みます。			
施策の体系	拠点性の強い市街地の形成及び利用者の利便性向上や商業地の魅力向上			

○実施計画事業

事業No.	2	与那原町大型ビジョン活用事業		事業課	まちづくり課	
予算	事業名	与那原町大型ビジョン活用事業				
	科目	款	7	項	1	目
個別計画/条例		—			目標年次等	平成30年度
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	歴史的、文化的遺産や魅力的で個性豊かなまち及びまちの特産品を紹介し、何度でも訪れたいくなるような情報を発信するため、マリントウン地区の中心に大型電光掲示板を設置する。					
事業対象	町民及び観光客					
目標値	マリントウン地区の中心に大型電光掲示板を設置する。				H29年度	委託業務
					H30年度	大型電光掲示板設置
現状値	町民や観光客へ、観光情報や災害時の情報発信する大型電光掲示板がない。					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	4,020 千円	事業費	48,000 千円		
	委託業務	1 件	大型電光掲示板設置	1 基		

まちづくりの基本方針	4	コンパクトで快適に暮らせるまちづくり		
施策の方向	(2)	道路体系	該当ページ	P67
基本方針	国道や県道など主要幹線と町道の幹線道路との円滑な道路交通ネットワークの確立を図ります。また安全で安心な道路環境を確保するため、自動車、歩行者双方の視点にたち、利便性、安全性、快適性を兼ね備えた道路整備を行います。			
施策の体系	歩道の確保、遊歩道の整備、バリアフリー化の促進、自転車の利用を促進する道路整備			

○実施計画事業

事業No.	上与那原23号線道路整備事業			事業課	まちづくり課
予算	事業名	上与那原23号線道路整備事業（沖縄振興公共投資交付金事業）			
	科目	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費
	目	2 道路新設改良費			
個別計画/条例	沖縄振興公共投資交付金			目標年次等	H30年度
事業期間	平成27年度～平成30年度				
事業目標	本路線を整備することにより、現状として狭隘な生活道路に集中している交通量の更なる増加に対応し、安心して安全な道路交通網の構築を図る。また、上与那原地区における未開発地域の土地の有効活用を促し、市街化区域拡大への足掛かりとする。				
事業対象	全住民				
目標値	上与那原地区における、自動車、自転車、歩行者にとって安心して安全な道路交通体系を構築する。また、本路線周辺への住宅建設等を促し、市街化区域拡大への足掛かりとする。	H29年度	用地買収70% 物件補償70%		
		H30年度	用地買収100% 物件補償100%		
現状値	本計画路線と平行に走る上与那原1号線において、周辺地区の主要な生活道路として、また、近隣市町とのアクセス道路としての利用が集中しており、今後の更なる交通量の増加に伴う事故等の発生が懸念される。土地利用については、市街化調整区域等の制限により、有効活用ができない状況である。				
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/
	事業費	85,125 千円	事業費	200,000 千円	
	<ul style="list-style-type: none"> • 用地買収 • 物件補償 		<ul style="list-style-type: none"> • 用地買収 • 物件補償 		

まちづくりの基本方針	4	コンパクトで快適に暮らせるまちづくり		
施策の方向	(2)	道路体系	該当ページ	P67
基本方針	国道や県道など主要幹線と町道の幹線道路との円滑な道路交通ネットワークの確立を図ります。また安全で安心な道路環境を確保するため、自動車、歩行者双方の視点にたち、利便性、安全性、快適性を兼ね備えた道路整備を行います。			
施策の体系	歩道の確保、遊歩道の整備、バリアフリー化の促進			

○実施計画事業

事業No.	与那原東浜線道路改良事業			事業課	まちづくり課	
予算	事業名	与那原東浜線道路改良事業（沖縄振興公共投資交付金事業）				
	科目	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目
個別計画/条例		沖縄振興公共投資交付金		目標年次等	H29	
事業期間	平成27年度～平成29年度					
事業目標	本路線を整備することにより、学校や公園といった公共施設及び、大型店舗等への新たなアクセスルートを構築し、住民の生活環境の向上を図る。また、大地震等の災害時には、避難道として利用することで、減災に寄与する道路として整備を行う。					
事業対象	全住民					
目標値	安心安全で利便性が高く、避難道としての機能を有した道路を整備する。	H29年度	供用開始			
		H30年度	—			
現状値	ゆめなり橋から北側約600mの間は東浜地区と与那原地区が水路によって分断されているため、利便性が低い状況である。					
年度別事業内容	3年次(平成29年度)		4年次(平成30年度)			
	事業費	132,000 千円	事業費	千円		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 橋梁下部工工事 2件 ・ 橋梁上部工工事 1件 ・ 現場技術支援業務 ・ 磁気探査業務 ・ 資材調査業務 ・ 道路台帳整備業務 					

まちづくりの基本方針	4	コンパクトで快適に暮らせるまちづくり		
施策の方向	(2)	道路体系	該当ページ	P67
基本方針	国道や県道など主要幹線と町道の幹線道路との円滑な道路交通ネットワークの確立を図ります。また安全で安心な道路環境を確保するため、自動車、歩行者双方の視点にたち、利便性、安全性、快適性を兼ね備えた道路整備を行います。			
施策の体系	歩道の確保、遊歩道の整備、バリアフリー化の促進、自転車の利用を促進する道路整備			

○実施計画事業

事業No.	与那原19号線道路改良事業			事業課	まちづくり課	
予算	事業名	与那原19号線道路整備事業（沖縄振興公共投資交付金事業）				
	科目	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目
個別計画/条例	沖縄振興公共投資交付金			目標年次等	H30年度	
事業期間	平成29年度～平成32年度					
事業目標	本路線を整備することにより、水路沿いルートへの延伸を図り、町東部の当添漁港からの護岸沿い約4.1kmを一連に通行及び散策可能にする。これにより、学校及び公共施設と史跡、観光を組み合わせた、安心安全な道路交通ネットワークを形成する。					
事業対象	全住民					
目標値	歩行者、自転車にとって安心安全で、水辺に親しみ、景観を楽しみながら歩ける道路を整備する。	H29年度	道路詳細設計			
		H30年度	用地買収100%			
現状値	計画箇所は、琉球政府時代に整備された既設護岸となっており、一連での通行、通り抜けはできない。また、ゴミの投棄も多く、衛生面についても問題あり。					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	23,000 千円	事業費	97,000 千円		
	<ul style="list-style-type: none"> 道路詳細設計委託業務 		<ul style="list-style-type: none"> 用地買収 			

まちづくりの基本方針	4	コンパクトで快適に暮らせるまちづくり		
施策の方向	(3)	公共交通機関の利便性の向上	該当ページ	P69
基本方針	関係機関と連携を図りながら、新たな公共交通システム（基幹バス、LRT等）による将来交通ネットワークの構築を目指します。また、本島東部地域の広域交通結節点として、誰もが移動しやすい交通体系の確立に取り組みます。			
施策の体系	利便性の良い移動しやすい交通環境の確立			

○実施計画事業

事業No.	1	交通計画策定事業			事業課	企画政策課
予算	事業名	交通計画策定事業				
	科目	款	2総務費	項	1 総務管理費	目
個別計画/条例		街路交通調査費補助			目標年次等	H29年度
事業期間	平成28年度～平成29年度					
事業目標	全町民及び有識者等の様々な人たちからの意見を踏まえた総合交通基本計画を策定し、当該計画を達成する為の戦略を盛り込んだ地域総合戦略を策定する。					
事業対象	全町民					
目標値	①総合交通基本計画の策定（平成28年度） ②地域総合交通戦略の策定（平成29年度）				H29年度	戦略策定
					H30年度	-
現状値	現在戦略策定無し					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	9,000 千円	事業費	- 千円		
	地域総合交通戦略の策定 ・委託費：9,000千円					

第4次与那原町総合計画実施計画

まちづくりの基本方針	4	コンパクトで快適に暮らせるまちづくり		
施策の方向	(3)	公共交通機関の利便性の向上	該当ページ	P69
基本方針	関係機関と連携を図りながら、新たな公共交通システム（基幹バス、LRT等）による将来交通ネットワークの構築を目指します。また、本島東部地域の広域交通結節点として、誰もが移動しやすい交通体系の確立に取り組みます。			
施策の体系	誰もが移動しやすい交通環境の確立			

○実施計画事業

事業No.	1	生活バス路線確保対策補助金事業			事業課	企画政策課
予算	事業名	地方バス路線維持費補助金				
	科目	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目
個別計画/条例		与那原町生活バス路線確保対策補助金交付要綱			目標年次等	—
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	地域において必要なバスの運行について、その確保を図り、もって地域住民の向上に資するため、バス業者に対し、予算の範囲内において赤字バス路線へ、路線通過市町村にて補助金を交付し、バス路線を維持させる。					
事業対象	全町民					
目標値	該当路線地域及び周辺地域住民の公共交通機関の維持継続			H29年度	赤字バス路線維持	
				H30年度	赤字バス路線維持	
現状値	赤字路線（沖縄バス系満新里線（36番））の維持継続					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	1,160 千円	事業費	1,160 千円		
	赤字バス路線への補助金交付（与那原町→沖縄バス）		赤字バス路線への補助金交付（与那原町→沖縄バス）			

[目次](#)

第4次与那原町総合計画実施計画

まちづくりの基本方針	4	コンパクトで快適に暮らせるまちづくり		
施策の方向	(4)	緑化	該当ページ	P70
基本方針	公共や民間建築物への緑化の促進、主要な道路における街路樹整備、公園の緑化を進めます。また住民へ地域や家庭における緑化の促進を働きかけます。			
施策の体系	街路樹の整備、公園等の緑化、ポケットパーク等の整備			

○実施計画事業

事業No.	観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業			事業課	まちづくり課	
予算	事業名	観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業（沖縄振興特別推進事業）				
	科目	款	7 商工費	項	1 商工費	目
個別計画/条例		沖縄振興特別推進市町村交付金			目標年次等	H30年度
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	町内散策コースの美化・緑化を促進し、観光客が安心・安全で気持ち良く町内を回遊できるように環境美化・整備を行い観光振興を図る。					
事業対象	全住民					
目標値	コンパクトな町の特徴を生かし、観光客の利便性と回遊性のある「歩いて楽しむ観光」を推進し、商店街に誘致することにより観光振興及び経済振興を図る。			H29年度	散策コース美化清掃	
				H30年度	散策コース美化清掃	
現状値	本町の市街地は、全体的に建物が密集して、緑の少ない街並みとなっており、公共空間においても緑が少ない状況にある。					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	26,346 千円	事業費	26,000 千円		
	<ul style="list-style-type: none"> 散策コース美化清掃 緑化工事 		<ul style="list-style-type: none"> 散策コース美化清掃 緑化工事 			

まちづくりの基本方針	4	コンパクトで快適に暮らせるまちづくり		
施策の方向	(4)	緑化	該当ページ	P70
基本方針	公共のや民間建築物への緑化の促進、主要な道路における街路樹整備、公園の緑化を進めます。また住民への地域や家庭における緑化の促進を働きかけます。			
施策の体系	住民の緑化意識の高揚、緑化運動の実施			

○実施計画事業

事業No.	林業振興事務運営事業			事業課	農林水産課	
予算	事業名	林業振興事務運営事業				
	科目	款	6款 農林水産業費	項	2項 林業費	目
個別計画/条例		与那原町森林整備事業計画			目標年次等	H30年度
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	<p>沖縄県緑化推進委員会と連携をし、緑化意識の普及啓発に取り組む。また、与那原小学校と与那原東小学校の児童で構成する「緑の少年団」の活動を通し、若者への緑に対する意識高揚を図る。</p> <p>さらに与那原町緑化支部を通した各区等への緑化事業による苗木や堆肥を補助し、地域での緑化活動を推進する。</p>					
事業対象	全町民					
目標値	○緑の募金事業実施 ○緑の少年団活動支援 ○沖縄らしいみどりを守ろう事業実施				H29年度	緑化事業の実施
					H30年度	緑化事業の実施
現状値	緑化事業による意識啓発活動と町有地内のデイゴ、リュウキュウマツの保護					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費 262 千円		事業費 262 千円			
	デイゴヒメコバチ防除対策事業		リュウキュウマツ樹幹注入事業・デイゴヒメコバチ防除対策事業			

まちづくりの基本方針	4	コンパクトで快適に暮らせるまちづくり		
施策の方向	(5)	上水道	該当ページ	P72
基本方針	将来の人口増加とMICE施設建設に伴う水需要の増加に対応するとともに、災害時においても安全な水の供給を行うため、水道施設の整備及び拡充を図るとともに、老朽施設の計画的な更新に努める。			
施策の体系	水道施設改修整備			

○実施計画事業

事業No.	1	与那原町水道事業			事業課	上下水道課	
予算	事業名	施設修繕					
	科目	款	21 水道事業費用	項	01 営業費用	目	03 業務費
個別計画/条例		与那原町水道条例			目標年次等		H30年度
事業期間	平成29年度～平成30年度						
事業目標	水道施設の定期点検を実施し、異常、または老朽化による機能低下が無いかを確認し、必要な箇所は修繕を行うことにより、重大事故を未然に防ぎ、常に安定的な水の供給が出来る様に努めます。						
事業対象	与那原町全域						
目標値	有収率の向上			H29年度	94.5%		
	※有収率＝有収水量／給水水量×100 有収水量：料金対象となった水量 給水水量：沖縄県からの購入水量			H30年度	94.5%		
現状値	平成28年度末の与那原町の有収率91.4%						
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/		
	事業費	33,588 千円	事業費	33,588 千円			
	○漏水配水管、給水管の修繕		○漏水配水管、給水管の修繕				

まちづくりの基本方針	4	コンパクトで快適に暮らせるまちづくり		
施策の方向	(5)	上水道	該当ページ	P72
基本方針	将来の人口増加とMICE施設建設に伴う水需要の増加に対応するとともに、災害時においても安全な水の供給を行うため、水道施設の整備及び拡充を図るとともに、老朽施設の計画的な更新に努める。			
施策の体系	漏水防止対策			

○実施計画事業

事業No.	2	与那原町水道事業			事業課	上下水道課	
予算	事業名	漏水調査委託					
	科目	款	21 水道事業費用	項	01 営業費用	目	03 業務費
個別計画/条例		与那原町水道条例			目標年次等		H30
事業期間	平成29年度～平成30年度						
事業目標	漏水調査を毎年実施し、漏水箇所の早期発見に努め、有収率の向上を図ります。						
事業対象	与那原町全域						
目標値	有収率の向上		H29年度		94.5%		
	※有収率＝有収水量／給水水量×100 有収水量：料金対象となった水量 給水水量：沖縄県からの購入水量		H30年度		94.5%		
現状値	平成28年度末の与那原町の有収率91.4%						
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/		
	事業費 7,436 千円		事業費 7,436 千円				
	○戸別音聴調査 3,670戸×2回＝7,340戸 ○路面音聴調査 L＝152km ○確認調査 L＝20km		○戸別音聴調査 3,670戸×2回＝7,340戸 ○路面音聴調査 L＝152km ○確認調査 L＝20km				

まちづくりの基本方針	4	コンパクトで快適に暮らせるまちづくり		
施策の方向	(5)	上水道	該当ページ	P72
基本方針	将来の人口増加とMICE施設建設に伴う水需要の増加に対応するとともに、災害時においても安全な水の供給を行うため、水道施設の整備及び拡充を図るとともに、老朽施設の計画的な更新に努める。			
施策の体系	災害・非常時に備えた整備及び断水時への体制整備			

○実施計画事業

事業No.	3	与那原町水道事業			事業課	上下水道課
予算	事業名	水道管路更新				
	科目	款	41 資本的支出	項	01 建設改良費	目
個別計画/条例		与那原町水道条例			目標年次等	H30
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	安全な水道水を安定供給するために、老朽化した水道施設の計画的な改修整備に努めます。					
事業対象	与那原町全域					
目標値	老朽配水管及び給水管の計画的更新	H29年度		500m		
		H30年度		500m		
現状値	布設後20年以上経過した老朽管 L=9,500m					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費 34,000 千円		事業費 34,000 千円			
	○老朽送配水管更新工事		○老朽送配水管更新工事			

まちづくりの基本方針	4	コンパクトで快適に暮らせるまちづくり		
施策の方向	(5)	上水道	該当ページ	P72
基本方針	将来の人口増加とMICE施設建設に伴う水需要の増加に対応するとともに、災害時においても安全な水の供給を行うため、水道施設の整備及び拡充を図るとともに、老朽施設の計画的な更新に努める。			
施策の体系	水質検査による水質事故の防止			

○実施計画事業

事業No.	4	与那原町水道事業			事業課	上下水道課
予算	事業名	水質検査委託				
	科目	款	21 水道事業費用	項	01 営業費用	目
個別計画/条例		与那原町給水条例			目標年次等	H30
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	水質検査計画に基づき町内6箇所の末端給水栓より毎日採取し、水温・残留塩素濃度・色・濁りについて検査を行うとともに、定期的に法令に基づく水質検査を行うことにより水質自事故の防止に努めます。					
事業対象	与那原町全域					
目標値	毎日検査 4項目 水温・残留塩素・色・濁り 定期検査 50項目 一般細菌・大腸菌・塩化物イオン・有機物・硬度・pH値・臭気・濁度等	H29年度		法定基準値以内		
		H30年度		法定基準値以内		
現状値	各項目とも法定基準値をクリア					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費 4,100 千円		事業費 4,100 千円			
	○毎日検査 ○毎月検査 ○年4回検査 ○年1回検査		○毎日検査 ○毎月検査 ○年4回検査 ○年1回検査			

まちづくりの基本方針	4	コンパクトで快適に暮らせるまちづくり		
施策の方向	(6)	下水道	該当ページ	P74
基本方針	住民の生活環境を改善するとともにMICE施設建設に伴う、周辺水路や河川の水質汚染を防止し、本町の特産品であるヒジキの生育環境の保全に努めるよう、公共下水道の整備を促進します。すべての住民が健康的で快適な生活を送れるよう、計画的な公共下水道の整備に取り組みます。			
施策の体系	水質浄化のための下水道整備促進、浸水対策、下水道接続率の向上			

○実施計画事業

事業No.	1	与那原町公共下水道事業			事業課	上下水道課
予算	事業名	下水道整備事業				
	科目	款	01 公共下水道費	項	01 公共下水道費	目
個別計画/条例		与那原町下水道条例			目標年次等	H30年度
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	生活環境の改善、海や河川及び水路の水質汚濁防止を図るための公共下水道の整備を促進するとともに、住民やまちを守るため、浸水の解消を図ります。					
事業対象	与那原町全域					
目標値	整備率及び接続率の向上 ※整備率(%) = 供用開始面積 / 全体計画面積 × 100 接続率(%) = 接続人口 / 接続可能人口 × 100				H29年度	整備率74%、接続率71.5%
					H30年度	整備率75%、接続率72.0%
現状値	平成28年度末の汚水事業の現状 ○整備率 = 213.6 (ha) / 294.0 (ha) × 100 = 72.6% ○接続率 = 11,258 (人) / 15,697 (人) × 100 = 71.7%					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費 300,000 千円		事業費 300,000 千円			
	○汚水管未整備地区での汚水管布設工事 ○冠水・浸水地域での雨水管布設工事		○汚水管未整備地区での汚水管布設工事 ○冠水・浸水地域での雨水管布設工事			

まちづくりの基本方針	4	コンパクトで快適に暮らせるまちづくり		
施策の方向	(6)	下水道	該当ページ	P74
基本方針	住民の生活環境を改善し、海や河川及び水路の水質汚染を防止するとともに、本町の特産品であるヒジキの生育環境の保全等の観点から、公共下水道の整備促進が望まれている。すべての住民が健康的で快適な生活を送れるよう、計画的な公共下水道の整備を図る。			
施策の体系	下水道事業の仕組みや必要性の周知			

○実施計画事業

事業No.	2	与那原町公共下水道事業			事業課	上下水道課
予算	事業名	下水道整備事業				
	科目	款	01 公共下水道費	項	01 公共下水道費	目
個別計画/条例		与那原町下水道条例			目標年次等	H30年度
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	下水道事業の仕組みや必要性及び整備目標の周知を図ります。					
事業対象	与那原町全域					
目標値	供用開始地区での個別訪問の実施やパンフレット配布、行政懇談会等での説明を行い周知を図る				H29年度	
					H30年度	
現状値	○平成28年度末に整備を終えた地区での戸別訪問の実施（当添、板良敷、与那原地区） ○行政懇談会での事業説明					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費 千円		事業費 千円			
	○汚水管整備済地区での戸別訪問やパンフレット配布 ○行政懇談会等での事業説明		○汚水管整備済地区での戸別訪問やパンフレット配布 ○行政懇談会等での事業説明			

まちづくりの基本方針	4	コンパクトで快適に暮らせるまちづくり		
施策の方向	(7)	都市計画	該当ページ	P76
基本方針	健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動を確保するとともに適正な制限のもと、土地の合理的な利用を図ります。また都市基盤の基本構想並びに都市計画区域の整備、開発及び保全の方針に即し、均衡ある町域の形成に取り組みます。			
施策の体系	既存公園の維持管理及び新規公園の整備			

○実施計画事業

事業No.	1	与那原町緑の基本計画一部見直し策定業務及び与那原公園（拡大）都市計画変更委託業務			事業課	まちづくり課
予算	事業名	与那原町緑の基本計画一部見直し及び与那原公園（拡大）都市計画変更業務				
	科目	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目 1 都市計画総務費
個別計画/条例		-			目標年次等	H30年度
事業期間	平成29年度					
事業目標	年度内に緑の基本計画の一部見直しと与那原公園（拡大）都市計画変更を行う。					
事業対象	与那原町内全域					
目標値	与那原町緑の基本計画一部見直し 与那原公園（拡大）都市計画変更業務				H29年度	緑の基本計画の一部見直し及び与那原公園（拡大）都市計画変更
					H30年度	-
現状値	昭和62年3月20日与那原公園都市計画決定。 平成16年2月与那原町緑の基本計画策定。					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	5,000 千円	事業費	- 千円		
	○与那原町緑の基本計画の一部見直し及び与那原公園（拡大）都市計画変更委託業務					

まちづくりの基本方針	4	コンパクトで快適に暮らせるまちづくり		
施策の方向	(7)	都市計画	該当ページ	P76
基本方針	健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動を確保するとともに適正な制限のもと、土地の合理的な利用を図ります。また都市基盤の基本構想並びに都市計画区域の整備、開発及び保全の方針に即し、均衡ある町域の形成に取り組みます。			
施策の体系	既存公園の維持管理及び新規公園の整備			

○実施計画事業

事業No.	2	与那古浜公園機能強化効果検証委託業務		事業課	まちづくり課	
予算	事業名	与那原町緑の基本計画一部見直し及び与那原公園（拡大）都市計画変更委託業務				
	科目	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目
個別計画/条例		-			目標年次等	平成31年度
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	当該施設完了後は施設を有効活用しスポーツ推進を促すとともに、園路内では住民の方々に健康づくりの一環としてウォーキングなどを楽しんでもらいたい。					
事業対象	与那原町東浜地内					
目標値	基本計画の策定（課題の整理、基本方針・基本施策の決定など）				H29年度	公園の機能強化効果検証
					H30年度	詳細設計
現状値	トラック内はクレイ舗装、外周園路はアスファルト舗装となっている。					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	2,872 千円	事業費	2,000 千円		
	○与那古浜公園機能強化効果検証		○トラック及び園路詳細設計			